

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年09月23日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部 経営学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2025年09月12日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (日本語名) University of California, Los Angeles(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025年6月～2025年9月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他: 州立
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～12 月中旬 2 学期: 1 月上旬 ～3 月下旬 3 学期: 3 月下旬～6 月中旬 4 学期: 6 月下旬 ～
学生数	46,678 人
創立年	1919 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ドル) (1 現地通貨 = 円)	B 日本円	備考
授業料	4,620ドル	681,632 円	
宿舍費	5,613ドル	828,279 円	ROOM+MEAL PLAN 20
食費		円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		20,000 円	
現地交通費	30ドル	45,000 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)		160,000 円	
被服費		20,000 円	
医療費		円	
保険費		30,000 円	形態:
渡航旅費		0 円	マイルージ
ビザ申請費	185ドル	27,340.24 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	(= 円)	4,518,935 円	
総計(A+B) ※円		4,518,935 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路			
往路 出発地:	仁川	目的地:	ロサンゼルス国際空港(LAX)
		経由地:	
復路 出発地:	ロサンゼルス国際空港(LAX)	目的地:	仁川
		経由地:	
渡航費用			
① 往復チケットを購入した場合			
航空会社:	大韓空港(KOREAN AIR)		
料金:	0		
② 片道ずつチケットを購入した場合			
往路 航空会社:	料金:		
復路 航空会社:	料金:	∴合計:	
航空券購入方法			
<input type="checkbox"/>	旅行代理店(店名:)		
<input checked="" type="checkbox"/>	インターネット(サイト名: KOREAN AIR)		
<input type="checkbox"/>	その他()		
滞在形態関連			
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎等)			
<input checked="" type="checkbox"/>	学生寮(寮の名前: Olympic Hall)	<input type="checkbox"/>	アパート
		<input type="checkbox"/>	ホームステイ
2) 部屋の形態			
<input checked="" type="checkbox"/>	個室	<input checked="" type="checkbox"/>	相部屋(同居人数 2)
3) 共有部分			
<input checked="" type="checkbox"/>	バス	<input checked="" type="checkbox"/>	トイレ
<input type="checkbox"/>	キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)		
4) 住居を探した方法:			
UCLA HOUSING			
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)			
<p>同じ部屋で 3 人一緒に過ごしましたが、部屋の広さが十分だったので、とても快適に過ごせました。6 月は、日中と夜の気温差が大きかったため、夜は厚手のパーカーを着て寝ていました。部屋には冷蔵庫や電子レンジが備え付けられている場合がありますが、部屋によってランダムです。私は電気ポットを持っていなかったため、友達のものを使用しましたが、個人用の電気ポットを持参することをおすすめします。</p>			

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

なし

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

主にESIMを使用しました。UCLAにもWi-Fiがあるので、学校内ではWIFIを使用しました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを主に利用して、現金も併用しました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

電気ポット、くすり

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払いました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
1B - Learning American English and Culture from Movies	
科目設置学部・研究科	COM
履修期間	A6
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	Tor
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	アメリカの有名なハリウッド映画を鑑賞し、その映画の背景について学びます。アメリカの文化や歴史を学ぶことができ、またお互いの文化を紹介し合います。典型的なアメリカ式の授業で、先生が学生に積極的に話かけ、コミュニケーションを取る形式です。発表は全部で 2 回あり、映画を見た後にその内容に関するクイズを 2 回行います。クイズの内容はやや難しいですが、私の担当の先生は「わからない問題は隣の人と相談してもよい」と言っていましたので、いい点数をもらいました。映画は英語字幕で見ると、最初は慣れずに大変かもしれませんが、次第に慣れてリスニング力も鍛えられます。映画を見ながら英語を楽しく学べると思うので、ぜひお勧めします！

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
25 - Academic Reading and Writing	
科目設置学部・研究科	ESL
履修期間	A6
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Scott Gist
授業内容	ReadingとWritingの勉強
試験・課題等	essay
感想を自由記入	ReadingとWritingの実力を確実に伸ばしたい人におすすめの授業です。Readingの文章を読んだ後、その内容についてクラスメートとディスカッションを行います。私が受講したときは、カリフォルニアの社会問題についてディスカッションをしました。他の人の意見を聞くこともでき、ReadingとWritingの授業でありながら、Speakingの練習もはっきりできたので、とても良い授業でした。先生との1対1の面談もあり、そのときにエッセイを書く際のアドバイスをいただけます。ESLの授業だったため、クラスメートとも仲良くなれ、先生もとても素晴らしい方でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
148 - Marketing Communications	
科目設置学部・研究科	COM
履修期間	C6
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Celia McLean
授業内容	マーケティング
試験・課題等	クイズ・毎週3~5ページくらいのレポート
感想を自由記入	自分の専攻に関連する科目を受講したかったので、この授業を取りました。一昨年までは対面で行われていたようですが、昨年からはオンラインに変更されたため、私もオンラインで受講しました。マーケティングに関連する科目はこれしかなかったため、やむを得ずオンラインで受講しましたが、対面授業とほとんど変わらない質の授業を受けることができました。自分でSWOT分析を行い、架空の商品を作り、その課題を継続的に進めていくという形式です。マーケティングの授業を受けたい人にはぜひおすすめしたいです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	出願
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	ビザ申請・TOEICの勉強
	4月～7月	航空券購入・滞在先確保
	8月～9月	
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

これまで大学の夏休み・冬休みの時に 1 か月程度の語学研修に参加したことはありましたが、より長い期間アメリカで英語に触れたいと思い、今回の留学を決めました。特に、UCLA という名門大学に留学できるプログラムがあったため、この機会をぜひ活用したいと思いました。留學生活を通して、自然に英語に触れながら実力を向上させることができました。アメリカの授業ではお互いの意見を交換する機会が多く、最初は自分の意見が間違っているのではないかと不安に感じることもありました。しかし、先生が「正解はない」と言って自信を持たせてくださったおかげで、次第に安心して授業に参加できるようになりました。それだけでなく、留学を通して普段は出会えないようなさまざまな人々と交流することで、自分の価値観を広げることができたと感じています。異なる国籍や年齢の人々と話したり、一緒に生活したりする中で、多くの学びを得ることができました。本当にこの留学を行ってよかったと思っています！！